

留学体験レポート

21018120 山口 大輔

私は、8月末から12月の末までの約4ヶ月間、韓国のソウル市にある慶熙大学に留学し、韓国語を学ぶと同時に貴重な体験を数多く経験することができました。日韓関係のニュースが毎日のように取り上げられていたなかでの留学だったので、出国する前は不安もありましたが、現地ではそのようなことは一切感じることなく生活できました。留学生活について、印象に残っていることと、次回参加する学生に向けて参考にしてほしいことをまとめます。

まず、韓国語の授業についてです。私自身も授業についていけるか、とても不安に思っていました。自分のレベルに合った韓国語の授業を受けることができるので、勉強しやすかったです。最初の一か月の授業では、新潟の大学の授業で習っていた文法なども出てくるので、もう一度確認することもできます。基礎的な文法や単語を知っていれば、ついていけなくなることはないです。先生は、優しく丁寧に教えてくれるので、分からないことがあれば必ず質問しました。質問することによって印象に残り、試験でも間違えることが少なくなった気がします。そして、正規の学期の授業では、クラス編成が行われ、他国の留学生と一緒に韓国語を勉強しました。私はこういった環境で勉強したことがなかったので最初はとても緊張しましたが、日本人の学生も何人かいたので、まず日本人の新しい友達を作って徐々にクラスに慣れていきました。この学期では、全く見たことのない文法や単語が毎日出てくるので、予習が必須でした。前日に分からない単語の意味を調べておくことによって、授業内で調べることが必要なくなり、授業に置いて行かれなくなりません。私は、スピーキングを苦手にしていましたが、授業で習ったことを、実際にお店などで使うことができたとき、多少ではありますが韓国語の能力が向上したように思えることができました。なんとなく聞いていた先生の話も、よく理解して聞いていたらリスニングだけでなくスピーキングもさらに良くなったと今思います。

食事については、韓国なので辛いものが多いですが、苦手な人でも食べられるものはたくさんありました。私は、外食する日を曜日ごとに決めていました。特にサムギョプサルやチキンを食べるのが多く、友達と楽しく時間を過ごすことができました。私たちはなるべく安くたくさん食べることができるお店を探し節約をしていましたが、韓国でしか食べることができないものを、いくつか食べずに帰って来たので少し心残りです。

最初は長いと感じていた4ヶ月でしたが、毎日が充実していたので、とても早く感じました。この留学を経験して、さらに韓国語を勉強したいと思うことができ、また機会があればまた留学してみたいとも思いました。